



# 大和文化センターだより

令和3年7月1日発行  
三原市大和文化センター  
三原市大和町下徳良111  
TEL 0847-33-1115 (FAX兼用)



## 体験講座 受講者募集

### エンジョイ!ハッピースマイル体操

日 時 令和3年9月1日(水)  
13時30分~15時

場 所 大和文化センター 舞台

対 象 大人

定 員 12名

講 師 上田 里恵さん

受 講 料 200円

持 参 物 運動のできる服装・靴・飲み物

申 込 期 限 8月25日(水)まで



- ☆アンチエイジング(若返り)トレーニング
- ☆筋力の維持向上(転倒防止)
- ☆階段の昇り降り、歩行などがスムーズにできるための骨盤底筋群のアップ
- ☆猫背の予防(膝や腰の痛みを軽減させる)

## 7月から主催講座が始まります

大和文化センターをご利用の皆様には、三原市の新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、主催講座は、7月1日以降の開催となりましたこと、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。緊急事態宣言解除に伴い、中止していた主催講座を7月よりスタートいたします。5月・6月の講座につきましては、講師と相談の上、振替をさせていただきます。振替日は開講式にご案内いたします。再度、大和文化センターを気持ちよくご利用いただけるよう準備を整えながら、ご利用者の皆様にお会いできる日を心より楽しみにしております。

講座名	開講日(曜日)	時間
バランスのとれた体にエクササイズ	7/ 2(金)	13:30~
池坊花を暮らしに	7/ 9(金)	13:30~
呼吸と姿勢で健康アップ	7/14(水)	13:30~
暮らしを彩る初めてのクラフト	7/19(月)	13:30~
基礎から学ぶ実用筆文字講座	7/21(水)	13:30~

## 三原市民ミュージカル立ち上げ式【大和文化センター：4月29日(木)】

☆演 題 「12支とカレンダーとほくら」 ~この地球(ほし)に生まれて~



昔々、神さまは、動物たちに「正月の朝、御殿に来たものは1番から12番まで順番にその年の大将にしてあげよう!」と、おふれを出しました。一番のりでネズミが大将になりました。1年に一度大将が入れ替わり、12年で一回りします。それを干支(12支)と言います。それから月に一度変わるのが1月~12月までのカレンダーさんです。一か月毎に地球の季節を変えるのがお仕事です。2030年、地震津波豪雨・ウイルス菌汚染により生物はすべて天国に流されてしまいました。ほくたちは宇宙をさまよう内に12支とカレンダーに出会い、みんな一緒に、神さまの「おつかい」で2020年に巻き戻された地球に帰ることになりました。2030年まで10年の間に、ほくたちが天国に行かずにすむ地球しなければなりません。神話とアンデルセンの童話が合体するとこんなミュージカルになりました。きっと素敵な仲間と出会えますよ!お楽しみください。

☆第23回 三原市民ミュージカル公演日  
日 時 令和3年8月14日(土)  
【昼の部】 開場13:20 開演14:00  
【夜の部】 開場17:20 開演18:00  
場 所 三原市芸術文化センター ポポロ ホール



※コロナ禍の状況により、変更になる場合があります。



### ☆コメント

新型コロナウイルス感染を防ぐため、細心の注意を払い3密にならないよう分散しながらのレッスンです。オンラインレッスン・家庭での自主練習といつもとは違った練習方法なので、今までとはより大変ですが、その分きっと感動作ができると思っています。是非、彼らの笑顔を観てあげてください。

# 大和の農業遺産

おおみぞ  
「大溝のはなし」

古い時代から人々を大変な苦境におとしめたものが天災と言われるもので、何の防ぎよの手立てもなかった昔は、冷害、長雨、旱魃(かんばつ)、風水害、病虫害などでも飢饉(ききん)を招きました。近世を通じて記録された天災地変は、広島藩117回、福山藩115回が記録され、だいたい2年に1回は災害に苦しめられたことになり、農民はその厳しさをもろに受けました。宝暦(1751年~1764年)の頃、上草井村は、約40戸の農家で約15ヘクタールの田んぼを耕作していました。水源に乏しい地域で、小さなため池や谷川を流れる小川の水を利用して稲を作っていました。毎年のように水不足で苦労していました。宝暦6年(1756年)、この地域一帯を大旱魃(だいかんばつ)が襲い、水がないため田植えのできない田んぼが耕作田の半分近くありました。村民の困難をみかねて、立ち上がったのが同じ上草井村の百姓「坂本茂三郎、中屋新七、草屋要七」の3人です。話し合った結果、「村の南側の山ひとつ越した向こうの谷の川、能良川から水を引いて来よう」と大溝を造る計画を立てました。3人は、まず庄屋と組頭に相談し、藩に許可を申し出る為の計画書作りを始めました。一番の苦労は、計画書につける設計図を書くことでした。夜な夜な提灯(ちょうちん)を用いて、何日



【能良川の取水口】



【大溝の完成記念碑】

もかかり、水がよどみなく流れるように溝の高低を測りながら約4000mもの溝筋を決めていきました。計画書を作成後、広島藩へ提出して7年が経過し、明和8年(1771年)ようやく許可証が届きました。そして、早速工事が始められ、作業は鎌(かま)、鍬(くわ)、ゲンノウ、石のみ、もっこなどの道具を使いすべて手作業で行われました。こうして、2年の歳月をかけて工事は終了し、「上草井の大溝」は完成しました。初めての通水もうまくいき、田んぼの水不足でこれまでのような難儀をすることはなくなりました。ただ、こうして完成した大溝も8年後の1781年頃に一部が大決壊をしました。そして、さらに1924年の大水害の時にもう一度大溝の土手が崩れて、この時は家も流され犠牲者まで出ました。こうした先祖の人達の苦労のお陰で、今では上草井の農家の人々はどんな旱魃(かんばつ)でも水不足の心配はしなくてよくなりました。大溝を記念して、大正3年(1914年)に観音堂脇に記念碑が建てられました。

(参考：ふるさと榎梨 榎梨文化財保護協会)

☆広島県立文書館 文書調査員の井長整次さんにお話を伺いました。

## 大和図書館からのお知らせ



○7月の休館日  
毎週火曜日 6日、13日、20日、27日  
祝日 22日(木)、23日(金)

○7月の展示  
「夏の虫たち、大行進！」(7月1日~31日)  
カブトムシやクワガタなど、虫の種類や飼い方などがわかる本の紹介

○絵本とおはなしの時間

日時 7月4日(日)

時間 14:00~14:20

日時 7月10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)

時間 10:40~11:00

人数 5組限定

※参加される方は、「広島県コロナお知らせQRコード」の読み取りをお願いいたします。

○小説本のミニリサイクル市

日時 7月1日(木)~31日(土) ※休館日を除く

時間 10時~18時

場所 大和図書館前

内容 図書館で除籍になった小説本を1人10冊まで、無料でお持ち帰りいただけます。無くなり次第終了です。持ち帰り用の袋をご持参ください。

※予定が変更になる場合もありますので、詳しくは大和図書館までお問い合わせください。

